

樹に宿る休憩所

『休日のほんの少しの家族の時間、子供にせかされて遊びにきた。

子供を遊具へと送り出し、大人は少し離れた所に腰をおろし、ほんのひと時のほっとする時間がここには流れる。

子供を育てていて、せわしない毎日の中で、こんな時間がどれだけあるだろうか。

この貴重な時間に、ほんの少しだけ、緑の側に身を置く事は出来ないだろうか』

照りつける強い日差しに、ただ日陰をつくるのではなく、そこに木々の陰影を。ただ風が抜けるだけでなく、そこに木々の揺らめきを。私たちは1本の樹を依り所に（かつて地域住民の憩いの場であったチンマーサーのように）人々が集い、憩い、語り合うための、生きている緑に宿るための環境を計画します。

敷地に1本のガジュマルを植え、ガジュマルを中心に遊具側にベンチ、その反対側にトイレブースを設置しました。

どこからでもガジュマルを見上げることのできる計画となっており、常に樹が作り出す光と影の揺らめきを感じることが出来ます。

そして、それらを一枚の大きなシェルターで覆い、大きな日陰をつくりつつ、台風や冬の強い北風を遮る計画としました。

半球体のドーム状の屋根シェルターは、隣接する遊具と相まってアイコン的な建物となり、こども広場の雰囲気を保ちます。

ベンチは子供にとっての遊び場であり、親御さんの見守りスペースでもあり、保育時らの集合スペースにもなります。

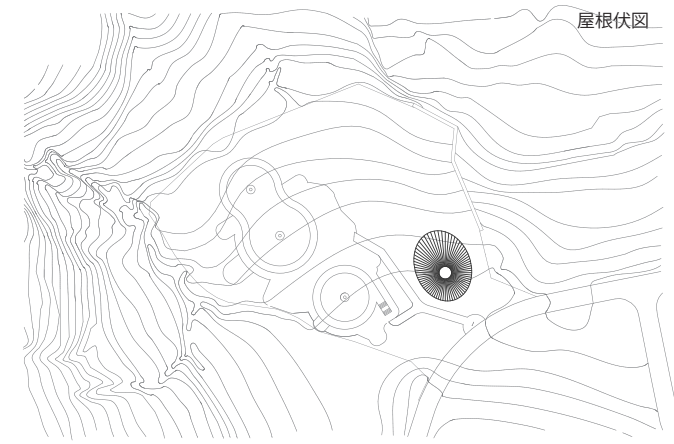
トイレブースはオールジェンダートイレとし、トイレブース上部からガジュマルを見上げることが出来ます。

休憩施設を設置する敷地は緩やかな勾配となっており、この勾配にそって計画する事で段差がなく、敷地を崩さない計画としました。

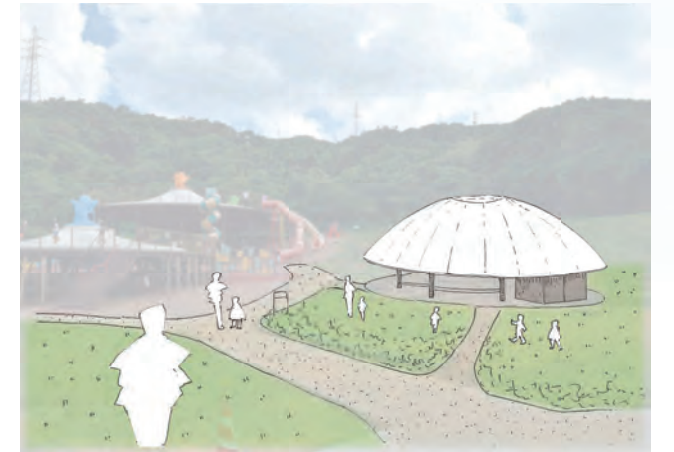
柱の外側に屋根下の土間空間を設けることで、レジャーシートを敷いて家族の拠点をつくることも出来るようにしました。

一本のガジュマルのもとに人々が寄り添い、一人一人の過ごし方を心地よくつつんであげること、

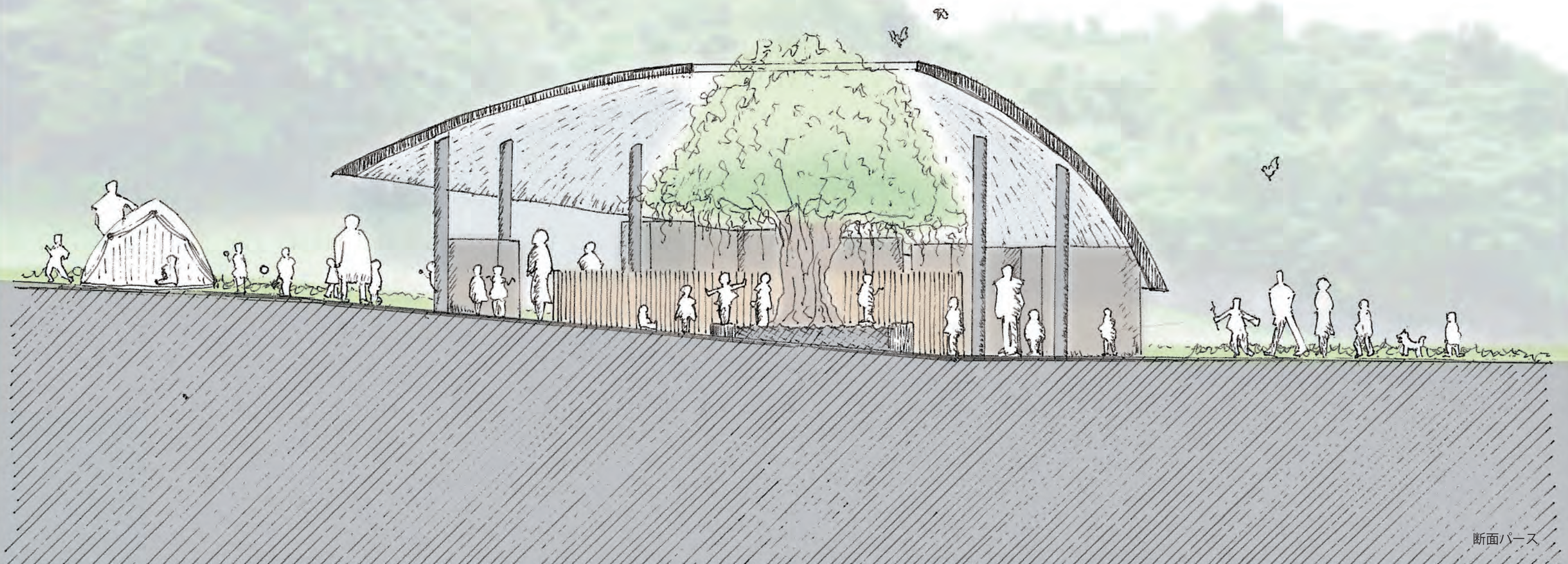
家族が一時を過ごすうえでの依り所のような場所になってくれたら、と思います。



屋根伏図



外観パース



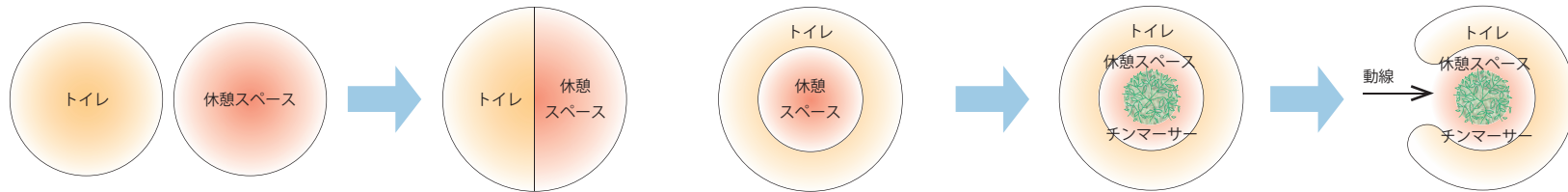
断面パース

樹を中心としたゾーニング計画



チンマーサー

中心に神木を祀り、集落の祭事を行っていた。地域のコミュニティの機能も果たし、人々の依り所となっている。



必要な機能を配置する

隣接一体型
コンパクトな形状となり一般的な利用が可能

包含型
休憩スペースをトイレ機能で包むことでまとまった休憩スペースが確保できる

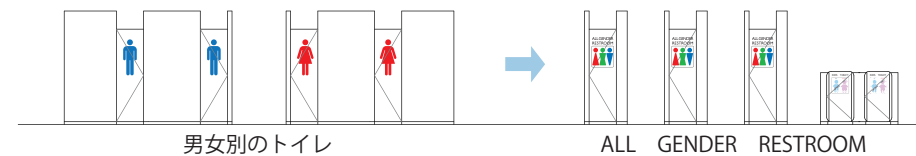
チンマーサーを中心に配置し、この場所のアイキャッチとなりながら利用者の滞留を促す

遊具側からの動線を確保し、遊具側へ視界を開放する

多様な利用目的に合わせたトイレ計画



多様化する社会ニーズに合わせ、全ての大便秘器ブースを誰でも利用可能とし、各ブースの扉に ALL GENDER のサインを掲示する。また子供の利用が多いことから、キッズ専用のブースを設け、子供用手洗いと足洗いも設ける。

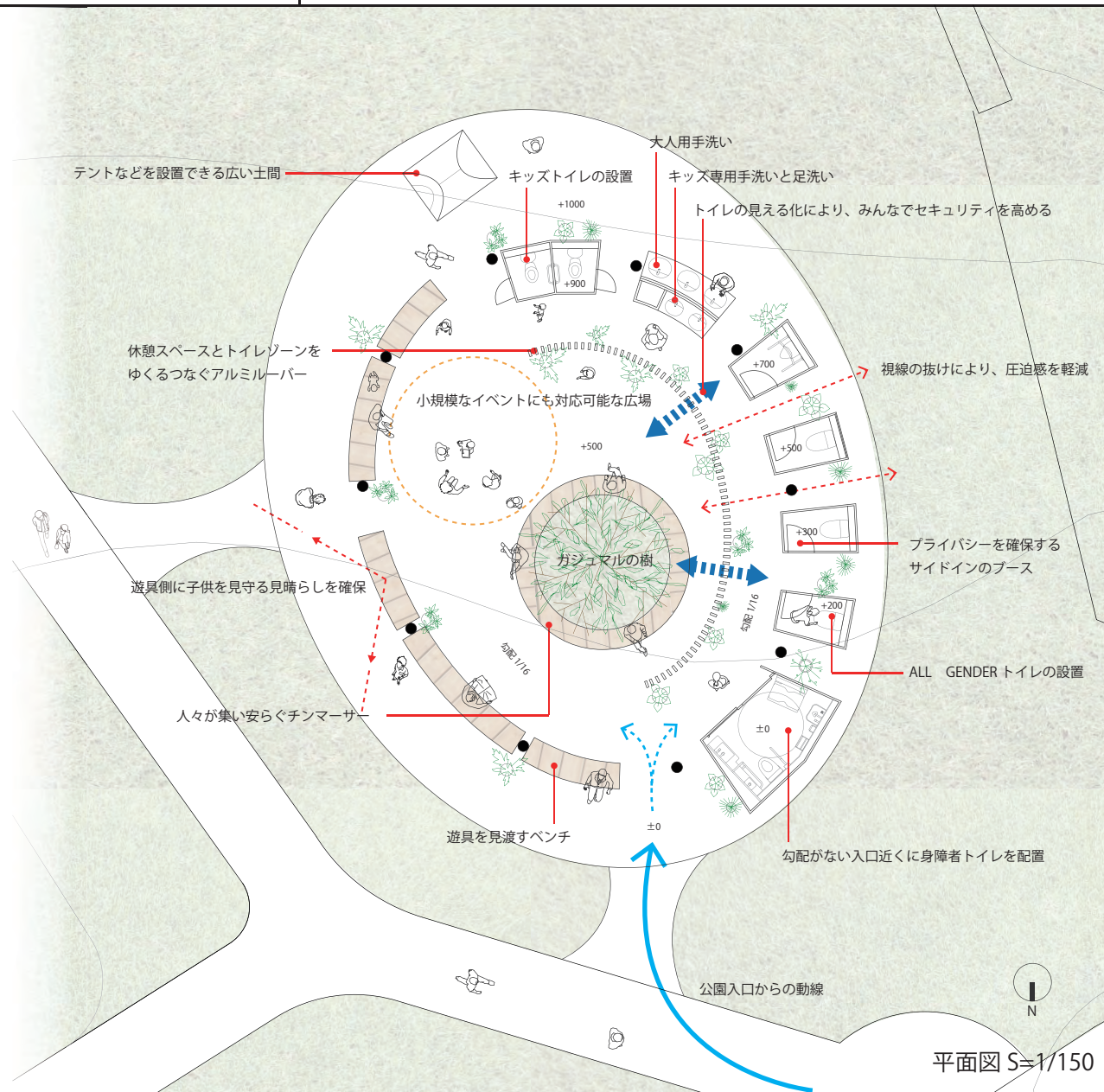


男女別のトイレ

ALL GENDER RESTROOM

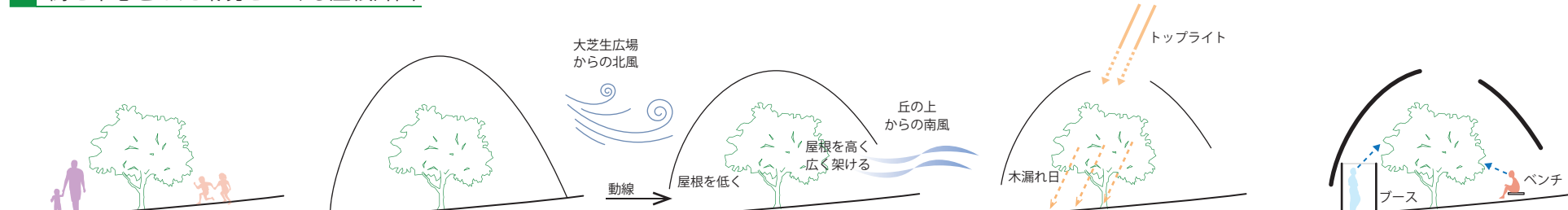


内観パース



平面図 S=1/150

樹を中心とした環境をつくる屋根計画



シンボルツリーによるチンマーサーを配置することで人の集う空間をつくる

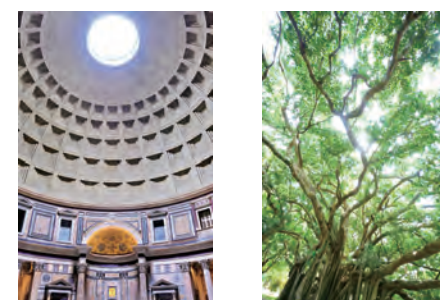
シンボルツリーを包むシェルターを架け、台風から樹を守り、日陰空間をつくる

シェルターを持ち上げ、動線を確保しながら強い北風を防ぎ、さわやかな南風を取り込む

シェルターのトップに孔を開けシンボルツリーに光を取り込む

トイレブースの中からでもシンボルツリーを見上げることができ、より自然を感じるシェルターとなる

イメージ



パンテオンのような象徴的なトップライト

神木・シンボルツリーとしてのガジュマル

建築概要

- ・場所：沖縄県中城村
- ・建築面積：185.4 m²
- ・階数：平屋
- ・高さ：5.0m
- ・構造種別：鉄骨造

仕上材

- ・屋根：ガルバリウム鋼板葺き
- ・床：コンクリート金ゴテ
- ・ブース：花崗岩 t30
- ・ベンチ：人工木材
- ・植栽：ガジュマル